

シンポジウム

関東の大雪に備える

趣旨説明： 上野健一（筑波大学）

主催 気象学会・雪氷学会

日時：平成28年12月10日（土）
13:00～18:00（開場 12:30）

場所：気象庁講堂（東京都・大手町）

場内での食事は×です。
構内への駐車は×です。
お隣との交流は◎です。

2014年2月の大雪を振り返ると、、、

非雪国の大雪： 雪崩、建物・農作物被害、交通・流通障害、
山村孤立、人身事故、、、

気象： 南岸低気圧 雪氷： 湿雪＋降雨
災害情報： GIS

「2014年2月14-16日の関東甲信越地方を中心とした
広域雪氷災害に関する研究調査」

文科省・科研費(新潟大学)

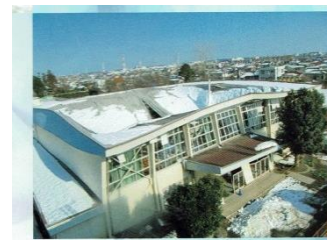
「南岸低気圧とそれに伴う気象・雪氷災害に
関する研究会」(つくば市、気象研)

気象学会・メソ気象研究会

雪氷学会・関東以西支部

今回のシンポジウムは、社会と学術情報を共有・補完し、
活用していくきっかけを作ろうと企画しました。

場所も都心に移し、多彩な専門家をお招きしました(初企画！)。どのようにまとまるか、やや不安、、、



ところで “大雪 に 備える”とは？

どのように？

の何に対して？

実は分野・業種に
応じて様々、、

皆さんは非雪国の大雪
にどう備えますか？？

会場参加型のプログラム

- 気象パート 荒木さん、寺川さん
ディスカッション(司会:上野)
- 雪氷パート 松田さん、森山さん
ディスカッション(司会:荒木)
＜休憩＞
- 情報パート 縫村さん、藤條さん
ディスカッション(司会:縫村)

会場からの
質疑

各20分の話題
提供

- 総合討論
参加者間の自己紹介
パネルディスカッション
(予報官の松本さんも参加)

まとめ・集合写真

会場での交流

10分程度

講演者間の質疑

30分程度のパネ
ルディスカッション

ディスカッションでの質疑方法

受付で付箋と鉛筆を配布

紫	—>	荒木さん	A
ピンク	—>	寺川さん	TK
黄色	—>	松田さん	MD
緑	—>	森山さん	MY
青	—>	縫村さん	N
紫	—>	藤條さん	TJ

メモをお願いします

それぞれ異なる色の付箋に
箇条書きで質問を1-2つ記入



ディスカッションの前に回収



司会がまとめて発表者に質問



会場入り口付近に掲示

足りない場合、ご近所で共有いただけると助かります

それでは開演でございます、、、

